



グリーンタイム

令和7年6月25日

渡島農業改良普及センター TEL 0138-77-8242
渡島農業改良普及センター渡島北部支所 TEL 0138-62-2496
檜山農業改良普及センター TEL 0139-53-6141
檜山農業改良普及センター檜山北部支所 TEL 0137-84-5514

安全安心な生乳出荷のために

○乳房炎の発生は金銭面でも労働面でも負担になります。乳房炎を防ぐ対策をしましょう。

■牛体を衛生的に保つ

除糞回数やスクレーパーの稼働回数を増やし牛床や肢蹄の汚れを防ぎましょう。フリーストール牛舎で過密になると通路にたまる糞尿の量が増え、牛体を汚すリスクも高まります。

■適切な手順で搾乳を行う

以下の3点に特に留意しましょう。①前搾り・乳頭清拭による乳頭刺激をしっかりと与える、②過搾乳を防ぐ、③ポストディッピングを確実にを行う

■免疫を正常に働かせる

ストレスがかかると免疫力が低下して、乳房炎にかかりやすくなります。『十分な飲水』、『十分な採食』、『快適な寝起き』ができる環境を整えましょう。暑さは牛にとって大きなストレスになります。これからの時期は暑熱対策も重要です。（6月4日発行のグリーンタイムに対策法を掲載）

○渡島管内では、毎年のように生乳中への抗生物質残留事故が起きています。我が家で間違いが起こりやすいポイントを再確認し、見える化とルール化のアップデートを行い事故を防ぎましょう。

■抗生物質残留防止対策

マーキング	足バンド：汚れてきたら交換 乳房や牛体後駆のスプレー：治療毎、薄くなってきたら再度実施 牛の前に看板（つなぎ牛舎）
作業者間での治療牛の周知	口頭 連絡ボード
治療時の個体確認	抗生物質の誤使用防止のため耳標の確認
治療タイミング	マーキングや個体の移動後に行う（治療後の実施忘れの防止）
検査キットの使用	ローリーへの混入防止対策

※検査キットで陰性でも、最終判断は公定法に基づく検査に委ねられます。生乳中に抗生物質を混入させない管理が重要です。